

校長の想い1月

自分のことは後にする

皆さん。新年あけましておめでとうございます。

令和6年の元日を迎えました。本年もよろしく願いいたします。

どうか今年一年が、皆様にとって幸多き一年となることを祈ります。

さて、「自分のことは後にする」は、今は亡き河島英五さんの歌、「時代おくれ」の歌詞にある一節です。

神津神卓会で、小学生の卓球を指導していると、練習が終わった後に大人の人たちは練習場の掃除をしているのに、小学生の一部は自分のラケットを掃除していることがありました。

「ほら、周りを見てごらん。大人の人たちが掃除をしているでしょう。ラケットを掃除している場合じゃないよ。自分のことは後にしなさい。」と私が注意をしたことがありました。

目配り、気配りができないようでは、卓球の技術が上達しても意味ありませんし、そのような人では技術的にも上手にはなれません。

大人である我々も「全体に関わるのが先、自分のことは後」という意識を持つことが大切であると思います。

時代おくれ

「……昔の友には やさしくて 変わらぬ友と 信じ込み ♪～
♪～ あれこれ仕事もあるくせに 自分のことは後にする… ♪～」

私って、時代おくれの人でしょうか？